

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 柳 俊徳	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	医薬品等の安全確保事業		
目的	(1) 対象	薬局等を利用する県民	
	(2) 意図	医薬品等が安全に提供される体制を確保する	
事業概要	医薬品医療機器法及び毒物及び劇物取締法に基づき、許可、監視、指導等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 法令遵守率	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	%
		取組目標値						
	式・定義 (立入検査施設数-違反施設数) / 立入検査施設数 × 100	実績値	95.2					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	9,925	12,075
うち一般財源 (千円)	5,405	5,608

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

薬事関係462施設及び毒物劇物関係160施設に立入検査を実施し、それぞれ22施設及び8施設で発見した違反について必要な指導を行った。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

薬局、医薬品販売業の店舗及び毒物劇物販売業の店舗等における医薬品等の管理が適正であるか確認され、不適正である場合には指導によって改善が図られた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
いわゆる健康食品について医薬品的な効能効果を謳った広告が見られる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
そもそも、「健康食品」について定義する法令は存在しない。それであるにもかかわらず、既に社会的に一定の認知がされている。
- ③原因を解消するための「課題」
悪意を持って違法な広告を行う業者がいる一方、法令についての認知が不足している業者も見られる。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き監視指導を実施し、違法な広告を行った者が県外に所在する場合は、所管の都道府県等へ通報等する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)